東串良町立池之原小学校　学校だより
はばたけ！けやきっ子
令和6年度
11月13日発行

読書のすゝめ
～読書から得られたものは誰からも奪われない一生の宝～

校長　上葉智明

Books are a uniquely portable magic.
～ 本は独自に持ち運び可能な魔法である ～

米国の小説家スティーブン・キングの言葉です。「ホラーの帝王」の異名をもつキング氏ですが1986年公開，日本でも大ヒットした映画『スタンド・バイ・ミー』原作の作者としても有名です。

明治大学文学部教授でコメンテーターとしても活躍されている齋藤孝氏は，著書『読書する人だけがたどり着ける場所』（2019年SB新書）で，読書の大切さを訴えます。本書の序章「なぜ，いま本を読むのか」で，氏は「私たち人類は《ホモ・サピエンス＝知的な人》です。～中略～　本を読まないのは，ホモ・サピエンスとしての誇りを失った状態。集中力も低下して，いよいよ『本を読まない』ではなく『本を読めない』ようになってしまったら，人類の未来は明るくないのではないかとすら思えてきます。」と，本離れが進む世を憂いています。

子供たちが読書の習慣を身に付けることは，一般的に次に挙げる八つのメリットが考えられます。

① 物知りになる　② 空想力が豊かになる　③ 読み取る力がつく　④ 集中できるようになる
⑤ 多くの言葉を覚える　⑥ 話し上手になる　⑦ 新しいものへの興味がわく　⑧ 文章が上手になる

これら以外にも読書のメリットはたくさんありそうです。また，読書の習慣が学力の向上に大きく影響を与えていることも事実であることから，読書が大切なことは保護者の皆様も十分に理解されていることと思います。

では，なぜ読書の習慣が身に付かないのでしょうか。読書の習慣化を阻む三つの要因を挙げてみます。

① 身のまわりに本がない　② 読み進めてもすぐに飽きてしまう　③ テレビやインターネット等の身のまわりのメディア

そこで，子供たちに読書の習慣を身に付けさせる五つの方法を考えてみました。

①　子供の身のまわりにいつも本がある環境を作る
本屋で一緒に選び購入する，図書館で借りる等して，子供の身のまわりにはいつも本がある環境にする。

②　まずは簡単な本から読み始める
今，子供が興味や関心をもっている本から読み始める（時には漫画でもよい）。

③　一日の中に，必ず本を読む時間帯を設定する
夕食の後や就寝前等，各家庭の生活のスタイルに合わせて読書の時間帯を設定する。

④　一日10分，一日10ページから始める
読み進めて面白くなってきたら，他に影響を及ぼさない範囲で時間やページを増やすのもよい。

⑤　テレビやインターネット等のメディアから離れる時間を作る
各家庭のルールつくりが必要不可欠。場合によっては，保護者も子供たちと一緒にテレビやインターネット等のメディアから一定時間離れることが必要である。そのため，ある程度の我慢が親にも必要。

『**読書から得られたものは誰からも奪われない一生の宝**』です。保護者の皆様が子育てを通してお子さんと一緒に過ごせる期間は，十数年しかありません。長い人生の中でほんのわずかな時間です。短い時間でも，親子でスマートフォン等のデジタルツールを遠ざけたり電源をオフにしたりしてみてはいかがでしょうか。そして，親子で一緒にゆったり本に親しむことにより，豊かな時間をお子さんと過ごす中で**誰からも奪われない一生の宝**を一緒に探してみてはいかがでしょうか。

日新公いろはうた

礼するは　人にするかは　人をまた　さぐるは人を　さぐるものかは

【大意】　礼を人に尽くすことは，自分を正しくして己を敬うことである。天を敬って己を慎む心を養いなさい。

第78回 秋季大運動会 応援ありがとうございました

10月27日(日)に，第78回秋季大運動会が開催されました。当日は暑さも和らぎ，全種目を無事に終えることができました。ご来場いただいた保護者・地域・来賓の皆様に，子供たちの元気に溌溂と競技や演技する姿をご覧いただけたことと思います。今後も，地域・家庭・学校が協力して，子供たちの健やかな成長が実現できるよう，ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

地域が育む かごしまの教育 県民週間 ご来校ありがとうございました

保護者・学校評議員の方々の参観

11月1日(金)の午前，学校評議員の方々（保護者の皆様は期間中は毎日）に，子供たちが落ち着きをもち，楽しそうに授業に臨む様子を参観していただきました。

池之原幼稚園児との交流

11月1日(金)午前中に，池之原幼稚園の園児を小学校に招き，１年生が生活科の学習を通して交流しました。来年入学する年長さんのお世話ができました。

４年生児童による十歳式

11月5日(火)の午後，４年生の十歳式を行いました。子供たちの大きく成長した姿にたくさんの感動をいただきました。

PTA親子読書部による読み聞かせ

11月6日(水)の午前，ＰＴＡ親子読み聞かせ部の方々に読み聞かせをしていただきました。子供たちは本の楽しさに浸ることができました。

歯を大切に！

11月8日は『いい歯の日』でした。この日にちなみ，本校では11／1～11／7を「いい歯にっこり池之原週間」として，歯と口の健康指導や個別指導，ポスター標語の掲示，歯みがきカレンダー等に取り組みました。

むし歯治療については，治療が終わった児童が先月より１名増え，治療率が**６２．７%**となり，まだ治療が終わっていない児童は**３１名**となりました（11月11日現在）。一日も早い治療が大切なお子さんの健康を守ることにつながります。保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

空気が乾燥しインフルエンザ等の感染症が流行しやすい時期です。手洗い・うがいの徹底，適切なマスクの着用，人込みや不要不急の外出を避ける等で，秋から冬を健康に過ごしていきたいものですね。

レッツビギン6

池之原小特別支援教育コーディネーター
わかば学級い組担任　木佐貫 陽子　文責

「マイペース」

マイペースと集団行動は，両立が難しいものです。まわりに振り回されずに行動できることは素晴らしいのですが，社会（集団）の中で生活するのであれば集団のペースに合わせるスキルも必要です。タイムリミットが明確に決まっているときは，終了時間までの作業のプロセスをいくつかの段階に分けておきましょう。

集団で活動しているとき，周囲の状況に関わらず自分のペースを守るのは，活動のイメージができていないのかもしれません。進行具合を客観的につかめるようにしましょう。また，ゆっくりすぎる場合には不器用さへの配慮が必要です。さっと片づけられるアイテムなど環境を整えてあげると安心できます。

参考文献『発達が気になる子の心に届く叱り方・ほめ方』
上野 一彦　　編著

11・12月の主な行事

11 月
13日(水)　ＰＴＡ理事会
15日(金)　学校保健委員会
16日(土)　ＰＴＡ主催「けやきふれあいフェア」
19日(火)　町内小中学校特別支援学級交流会
21日(木)　学級ＰＴＡ
22日(金)　秋の一日遠足（１～5年生）
23 日(土)　メディアコントロール家庭学習がんばりウィーク～29日
27日(水)　修学旅行（6年生）～28日
29日(金)　休養措置日（6年生）

12 月
5日(木)　小中一貫教育研究会
（全学年５時間授業 14:50下校）
10日(火)　人権教室
14日(土)　土曜授業日　おもちゃ祭(1・2年)
21日(土)　ＰＴＡ門松作り，しめ縄飾り作り
24日(火)　２学期終業式
25日(水)　冬休み～１／７